

**Special
Olympics**
Nippon



スペシャルオリンピックス日本調査研究委員会
第1回公開シンポジウム

SON20年の検証と 知的障害者スポーツのこれから

開催日時・場所

日時 : 2015年11月7日(土) 9:50~12:10 (開場 9:30)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階セミナーホール 417
東京都渋谷区代々木神園町3-1

主催 : 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
企画運営 : スペシャルオリンピックス日本調査研究委員会

【 公開シンポジウム開催によせて 】

スペシャルオリンピックス日本(以下SON)は、1994年11月の設立以来、知的障害のある人たちの自立と社会参加の促進を図るためのスポーツ活動の提供を使命とし、多様な人々が互いに尊重しあい共に生きていく社会の実現に寄与するための事業を推進してきました。SONIにかかわるボランティアの中には、大学に籍を置き、関連する調査研究を遂行することのできる人材も豊富です。

SONはその人材のネットワークを活用して、国内のスペシャルオリンピックス(以下SO)活動の実績を調査研究することにより、SOの効果を検証し、日本社会におけるSO活動の有益性を明らかにすることを試みたのでした。

本シンポジウムでは、この調査研究にあたったメンバーが研究結果の一部を報告いたします。また、国内の関係する方々から、本調査研究の意義、課題等についてコメントを頂戴し、今後の調査研究活動につなげることを目的とします。限られた時間ではありますが、国内でも数少ない知的障害のある人たちを対象とした総合的な調査研究の在り方、方向性を探索し、SOへの参加を通じたインクルーシブな社会創生への提言をねらいとしています。

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
調査研究委員会委員長 志村 健一

志村 健一
東洋大学社会学部教授

米国留学中にスペシャルオリンピックスのボランティアを経験する。スペシャルオリンピックス日本設立のメンバーの一人として継続的にスペシャルオリンピックスにかかわる。専門はソーシャルワークであり、障害者地域自立支援協議会、障害者(児)の生活実態調査などにもかかわりながら、ゼミ生をスペシャルオリンピックスに巻き込んで活動を展開している。



パネリスト 紹介 (敬称略)



田引 俊和
スペシャルオリンピックス日本調査研究委員会
北陸学院大学人間総合学部准教授

今年15周年をむかえる「公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知」の立ち上げ、設立時からボランティア参加し、多くのアスリートとともにスポーツプログラムを行う。また、10年ほど前からスペシャルオリンピックスに関する研究等を始め、SO日本調査研究委員会の前身となる研究チームの一人として活動する。現在、SO日本・愛知スポーツプログラム委員長。専門分野は、障害者スポーツ、障害者福祉論。



岩沼聡一郎
スペシャルオリンピックス日本調査研究委員会
帝京科学大学総合教育センター助教

大学2年生(2003年)からSO日本・青森にてアルペンスキーコーチとして活動を始める。2008年からはSO日本・東京にてアルペンスキーコーチを務める。加えて、SO日本スポーツトレーナー、スポーツプログラム委員会競技部会(アルペンスキー、スノーボード)幹事、調査研究委員会委員としても活動する。博士(スポーツ科学)。専門分野はバイオメカニクス、運動生理学。

講師・パネリスト 紹介（敬称略）



田中 聡明

スポーツ庁 健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室長

平成7年4月に文部科学省(当時は文部省)に入省し、広島県教育委員会教職員課長、高等教育局医学教育課長補佐、スポーツ・青少年局競技スポーツ課オリンピック・パラリンピック室長等を歴任し、本年10月1日より現職。

【ご挨拶】

公開シンポジウム「SON20年の検証と知的障害者スポーツのこれから」が開催されますことをお慶び申し上げます。最近のスポーツ行政をめぐる状況を見ると、昨年4月に障害者スポーツの所管が厚生労働省から文部科学省に移管され、さらに、本年10月には、スポーツ庁が発足しました。スポーツ庁では、従来のスポーツ振興施策に加え、スポーツ基本法の理念を踏まえて、スポーツを通じた健康増進や地域活性化、国際貢献など、関係省庁と連携しつつ、スポーツに関する施策を総合的・一体的に推進することとしています。また、障害者スポーツの競技力向上と裾野の拡大の両面から取り組むことにより、障害者スポーツ全般を強力に推進することとしています。

このような状況にあって、知的障害者の皆様のスポーツ活動の現状に係る現状を調査するとともに、その課題を明らかにする本シンポジウムは、今後の障害者スポーツ振興行政の推進当たり、非常に有益なものであると考えられます。終わりに、本シンポジウムの開催にご尽力された関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本シンポジウムの更なる発展とご参加の皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。



中森 邦男

(公財)日本障がい者スポーツ協会強化部長・日本パラリンピック委員会事務局長(兼任)

1953年大阪府生まれ。日本身体障害者水泳連盟顧問、フェスピック連盟スポーツ委員会(1999-2006)、東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会理事。また、選手団役員や水泳競技のコーチ・監督として、パラリンピック、フェスピック、アジアパラゲームズ、デフリンピック、グローバルゲーム等の国際大会に参加。



野村 一路

日本体育大学体育学部教授

1954年東京生まれ。(公財)日本障がい者スポーツ協会評議員、NPO法人日本知的障害者スポーツ連盟会長。国際知的障害者スポーツ連盟(INAS)Asia地区執行役員(スポーツディレクター)、文部科学省(現スポーツ庁)「地域における障害者スポーツ普及促進に関する有識者会議」副座長、文部科学省「健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業」協力者会議座長、元SO日本・東京理事(平成26年まで)。

プログラム

9:30	開 場 <ul style="list-style-type: none"> ● 総合司会 渡邊浩美 (SON調査研究委員会)
9:50	開会挨拶 藤本和延 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事
9:55	基調講演 『障害者スポーツの振興について』 田中 聡明 氏 スポーツ庁 健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室長
10:20	シンポジウム 『SON20年の検証と知的障害者スポーツのこれから』 <ul style="list-style-type: none"> ● パネリスト(発表順) <p>岩沼 聡一郎 SON調査研究委員会(SO活動身体的調査) 帝京科学大学</p> <p>田引 俊和 SON調査研究委員会(SO活動心理・社会的調査) 北陸学院大学</p> <p>中森 邦男 氏 (公財)日本障がい者スポーツ協会強化部長 日本パラリンピック委員会事務局長兼任</p> <p>野村 一路 氏 日本体育大学体育学部教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モデレーター <p>志村 健一 SON調査研究委員会委員長 東洋大学</p>
12:10	閉 会